



ピーマン農家さんへインタビュー！第二弾！！ 千代田化成を使い続ける理由を教えてください。



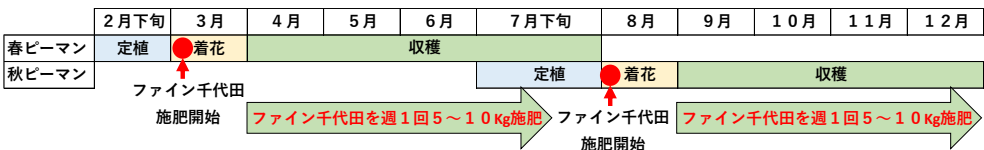
現地取材編 茨城県神栖市のピーマン特集 第2弾！！

今月は2023年6月に取材した横浜屋商店様とピーマン生産者様を再訪問しました！
千代田化成の使用のコツを更に詳しくお聞きしましたので是非参考にしてください！

第一弾はこちらからご覧ください  
農家様へのインタビューを交えて、
ピーマンの栽培体系と施肥量を紹介しています。



◎横浜屋商店式 施肥管理！ さらに詳しくお聞きしました！



●樹勢と着果の最適なバランスに注目！！

樹勢と着果のバランスが悪いと長期間に渡って良い収量を取ることができません。
上記の図のように樹勢が良すぎるときはファイン千代田に他の資材を混用して、
Pと苦土を高めています。
また、着果が良すぎる時はNKが高くなるように混用して施肥しています。

●施肥間隔は3日~10日おきに！

最近では気象が短期間で極端に変化するようになってきています。
異常気象の時は、少量施肥で間隔を短くして、樹勢と着果のバランスを調整して
います。
以前は14日間隔でファイン千代田を施肥することが主流でしたが、
それではバランスを調整することが難しくなっているため、
近年は上記の方法を推奨しています。

●千代田化成をおすすめする理由は？

千代田化成のPはリン安ですから、NとPが同時に効いてきます。
ピーマンの樹勢と着果のバランスを取るためには、
NとPが同じタイミングで効くことが重要です。
だから、千代田化成はピーマンの追肥に最適な肥料だと思っています。



◎使用歴10年！ 長谷川悦代さん (前回は取材させて頂きました)



効果に魅力を感じているからです。
窒素とリン酸の効きが速く、ピーマンが「立派」になると感じています。
灌水施肥だけではなく一部のハウスでは千代田化成を手振りしています。
他の肥料に比べて千代田化成は軽くて容量が多いので、
ハウスでは手で散布しやすいです。
株ごとの調子に合わせて量を調整したりもしています。
効果も作業性も良いため、千代田化成は欠かせません！

◎使用歴5年！ 原さん (前回は取材させて頂きました)



他の液肥と比べて成分のバランスが良く(PKが高く)、
コストパフォーマンスが良いのもありますし、使っていて安心感がありますね。
温度差が激しい時でも、特に生育や収量に問題は無いですね。
やっぱり千代田化成は低温でも良く効く、と感じます。
気を付けていることは温度管理です。ハウス内温度25℃~28℃を基準に、
スマホで見れる温度計を設置し、施肥量と換気を調整して、
肥料が効きすぎないようにしています。

◎使用歴20年！ 長谷川一夫さん



他の液肥に比べてNPKのバランスが良いので使い続けています。
特にPの成分が高く効きが速いのが良いですね。
父の代から使い続けていますが代わるものが無いと感じています。
定植後一カ月くらいから千代田化成を薄く流し始め、収穫終了間際まで
施肥を続けています。
肥料が効きすぎているな、と感じたら、水だけを流したりすることもあり
ます。
ピーマンは水を好む作物ですが水がたまりやすいところは病気になりや
すいので、かなり気を付けています。

編集後記

横浜屋商店様、原様、長谷川様、取材へのご協力、ご経験に基づく詳細な
活用方法やポイントなどを快く教えて頂き、ありがとうございました！
これからも千代田化成をよろしく願い致します！